

こしがや能

第三十三回

秋の調べ



能 狂言 舞囃子
おはなし 松風 渡邊 洋子
竹内 晶子
文山立 山本 泰太郎
絹 関根 知孝

写真撮影 前島吉裕

料 金 9月12日(金)チケット発売開始

一般 3,000円 学生 1,500円 (全席自由席・消費税込)

能楽堂友の会会員 10%割引 ※未就学児童の入場はできません

お問い合わせ こしがや能楽堂 ☎048-964-8700

チケット発売場所 こしがや能楽堂 ☎048-964-8700
越谷コミュニティセンター(サンシティホール) ☎048-985-1112

- ◆東武スカイツリーライン 越谷駅東口 北側ロータリーより
花田循環又は市立図書館行きバスの「花田苑入口」下車徒歩3分
 - ◆東武スカイツリーライン 新越谷駅/JR武蔵野線 南越谷駅 北口より
花田行き又は市立図書館行きバスの「花田苑入口」下車徒歩3分
 - ◆前売券は150枚販売。当日券の販売あり。(当日券は天候により販売を中止する場合があります。)
 - ◆チケットをお持ちの方は、公演当日、日本庭園「花田苑」(午前9時～午後3時)に無料で入園できます。
 - ◆駐車場には限りがありますので、ご来場の際はなるべく公共の交通機関をご利用ください。
 - ◆会場内の食事はできません。※お席での水分補給可。また、公演中の写真撮影・録音・録画行為は固くお断りいたします。
 - ◆能楽堂の「能舞台」及び「観覧席の一部」は屋外の施設となりますので、防寒及び暑さ対策にご留意ください。
- ※公演当日、チケットをお持ちの方は屋外(中庭見所席)と屋内(館内桟敷席)の席がありますので、どちらか選択していただき、それぞれの入場口よりお進みください。ただし、雨天時(予想含む)の場合、館内桟敷席のみでの利用となります。



会場 越谷市日本文化伝承の館

こしがや能楽堂

令和七年
十一月一日(土)
開場 十二時三十分 開演 十三時

※雨天決行(荒天時は中止する)
(場合があります)

主催：公益財団法人越谷市施設管理公社 共催：越谷市教育委員会 後援：越谷市

こしがや能
第三十三回

秋の調べ

おはなし
法政大学国際文化学部教授
竹内 晶子

令和七年
十一月一日(土)
開場十二時三十分 開演十三時

【狂言】

花月
近藤 豊

夕顔
依田 明子

船橋
関根 祥丸

地謡
古橋 美香
坂口 貴信
上田 公威
山本 麗晃

【舞囃子】

松風
渡邊 洋子

大鼓 柿原 孝則
小鼓 田邊 恭資
笛 八反田智子

地謡
由田 久子
笠田 祐樹
井上裕之真
高梨 良一
岡庭 祥大

【狂言】

文山立
シテ(山賊) 山本泰太郎

アド(山賊) 山本 則孝

〽休憩〽

【能】

ツレ(都ノ男) 田口 亮二

シテ(巫女) 関根 知孝

巻絹
ワキ(臣下) 福王 和幸

間(下人) 山本凜太郎

大鼓 柿原 孝則
小鼓 田邊 恭資
太鼓 澤田 晃良
笛 八反田智子

後見
坂口 貴信
上田 公威

地謡
依田 明子
古橋 美香
近藤 豊
山本 麗晃
笠田 祐樹
岡庭 祥大
関根 祥丸
井上裕之真

附祝言

(終了予定時間 十五時四十分頃)

演目紹介

狂言「文山立」

ふみやまだち

二人の山賊が、ねらった旅人を逃がしてしまったことからケンカし、果し合いが始まります。誰もいないところで聞つて死ぬのは無駄に命を落とすことも同然、せめて妻子に書置きを残そうということになります。

まさきぬ

能「巻絹」

巻絹とは、巻いた絹の反物のこと。とりわけ質のよいものが献上品とされました。

帝が、霊夢を見たことにより、巻絹を熊野三社に届けるよう諸国に命令が下ります。都の男(ツレ)は、巻絹を届ける途中で音無天神にお参りし、梅が見事に咲いているのを見て和歌を詠み、音無天神に捧げます。翌日、臣下(ワキ)に巻絹を届けますが、期日に遅れた罰として縄で縛られてしまいます。

そこへ音無天神の霊が乗り移った巫女(シテ)が現れ、男の和歌によって苦しみと和らいだと告げ、臣下にその縄を解くように命じます。臣下は疑いますが、巫女は男に昨日捧げた歌の上の句を言わせ、すぐに自分が下の句を続けることで証明し、男は縄を解かれ自由の身になります。

巫女は和歌の徳を褒め称え、臣下の願いに応じて神楽を舞いますが、熊野の神々が次々と憑依し激しく舞い狂います。突然神が上がられて、狂いが覚め、巫女は正気に戻るのでした。

